

# LibreOfficeで始めるオープンソース

JA 福岡市が導入した無償オフィスソフト

## JA 福岡市が取り組んでいる、リブレオフィス・オープンドキュメントの導入についてお知らせします。

### この資料を作成した目的は何なのでしょう？

この資料は、JA 福岡市の取り組みを組合員及び利用者の皆さんに御理解して頂き、オープンドキュメント採用によるメリットを共有して頂くために作成しました。

### どのような目的でオープンドキュメントを採用したのでしょうか？

JA 福岡市では、組合員サービスの向上やシステムコストの削減、文書保存の適正化に取り組むことを目指し、「LibreOffice(リブレオフィス)」と「ODF(オープンドキュメント)」を採用しました。

### 具体的にはどのようなメリットがあるのでしょうか？

これまでは、JA が作成した様式等の電子文書への記入を行うにあたって、組合員や利用者の方々に特定のソフトウェアを購入していただく必要がありました。

リブレオフィスとオープンドキュメントを活用することにより、JA が作成した電子文書をパソコンへの追加費用負担無く利用できるようになります。

ひとつは組合員や利用者の方々が JA と同じ電子文書を読み書きする環境を無償で構築できるというメリット  
もうひとつは、電子情報のやり取りによる情報の双方向化と効率化を実現できるというメリットがあります。

### 一歩前に踏み出してみよう！

JA 福岡市では、現在、リブレオフィスを使用して日々の業務を行っています。

リブレオフィスとオープンドキュメントに興味があるけれども利用に踏み出せないという方は、是非この資料をご覧頂き、まずは今お使いのパソコンで利用し「最初の一步」を踏み出して頂きたいと思えます。

## LibreOffice (リブレオフィス)・ODF (オープンドキュメント)とは何ですか？

JA 福岡市は、LibreOffice(リブレオフィス)を全事業所に導入し、システムコストの削減や組合員サービスの向上に役立てていきます。

この「リブレオフィス」とは一体どのようなソフトなのでしょう？

### LibreOffice(リブレオフィス)とは一体どのようなものなのでしょう？

LibreOffice(リブレオフィス)とは、オープンソースソフトウェアの開発を行う団体 The Document Foundation(TDF)が開発している

- ・文書作成(ワープロ)機能
- ・表計算(ワークシート)機能
- ・プレゼンテーション機能
- ・図形描画機能
- ・簡易データベース機能

など、パソコン業務に必要な機能を全て含んだ統合オフィスソフトウェアです。

### いままでのオフィスソフトと比べて何が違うのでしょうか？

#### 無償で配布され、誰でも利用できます

「リブレオフィス」は、インターネットや書籍などで無償配布されており、誰でも自由に自分のパソコンにインストールして利用することができます。

#### 国際標準規格のファイルを利用します

「リブレオフィス」は、パソコンで作成される文書の国際標準規格 ODF(オープンドキュメント)でファイルの作成・編集・保存を行うことができます。

ODF(オープンドキュメント)で作成された文書は、リブレオフィスだけでなく、対応する様々なオフィスソフトを自由に選択し、編集を行うことが出来ます。

(特定のソフト形式に束縛されないため、特定のソフトから他のソフトに移行できなくなるベンダーロックインを回避できます)

#### 世界中の有志が開発しています

リブレオフィスは、世界中の有志が協力しインターネット上で 24 時間開発が行われています。

この開発手法は、ソフトウェアの設計書(ソースコード)が一般に公開されていることから、「オープンソース」と呼ばれ、リブレオフィス以外にも、様々な優れたソフトウェアが開発されています。

今、この時も世界中のどこかでリブレオフィスの開発が続けられています。

### ODF(オープンドキュメント)とは何なのでしょう？

特定のベンダー(ソフトメーカー)に依存せず、仕様が公開されている国際標準ファイル形式(フォーマット)※のことです。

仕様が公開されているため、特定のメーカーだけでなく第三者が読み書き可能なツールやデータ変換ツールを作成することができ、ソフトの種類やコンピューターの機種に束縛されることなく表示・編集・印刷が可能となっています。

ODF 形式を欧米の公的機関を中心に組織内の標準文書フォーマットに指定する動きも出てきています。

※国際標準化機構 ISO/国際電気標準化会議 IEC(ISO/IEC 26300)として認定

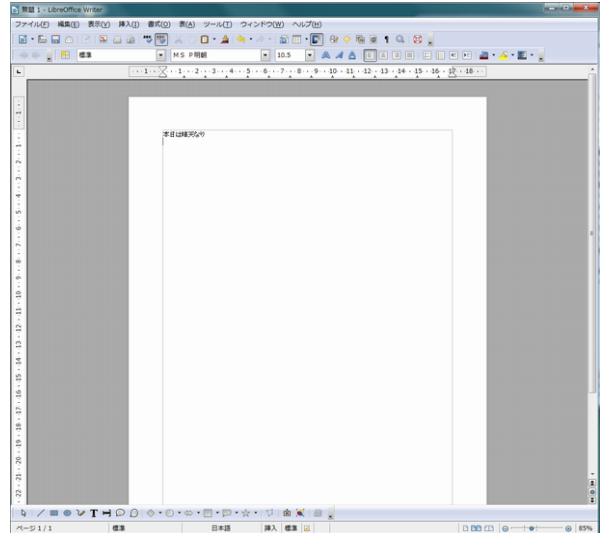
日本では(JIS X4401:2010)として認定

## LibreOffice (リブレオフィス) で何ができるのですか？

リブレオフィスは統合オフィスソフトです。  
機能を使い分けることでパソコンを様々な用途に利用することができます。

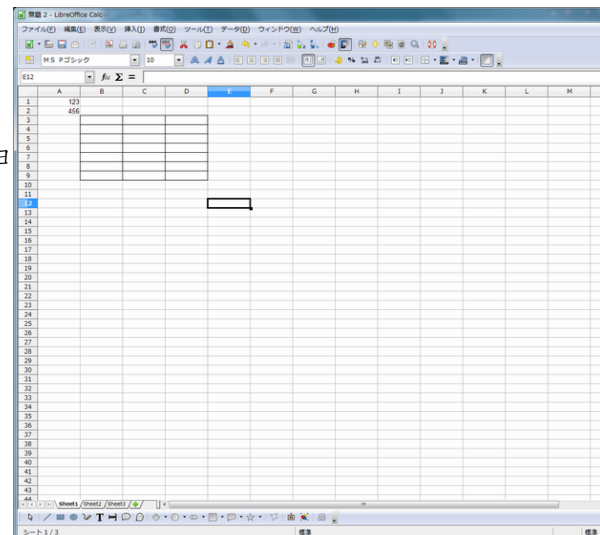
### ワープロ～ Writer

報告書から論文・小説まで、豊富な編集機能やスタイル設定を利用して、本格的な文書作成を行うことができます。



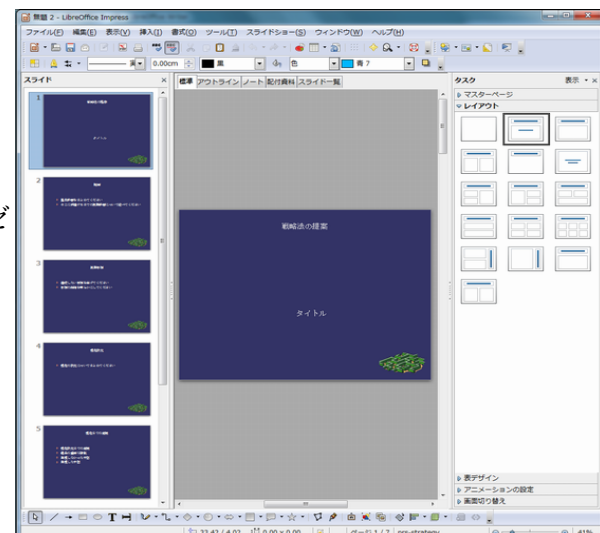
### 表計算～ Calc

一般的な四則演算計算表から、関数を用いたシミュレーションやマクロ(簡易プログラム)を利用した本格的な集計システムまで、柔軟に作成することができます。



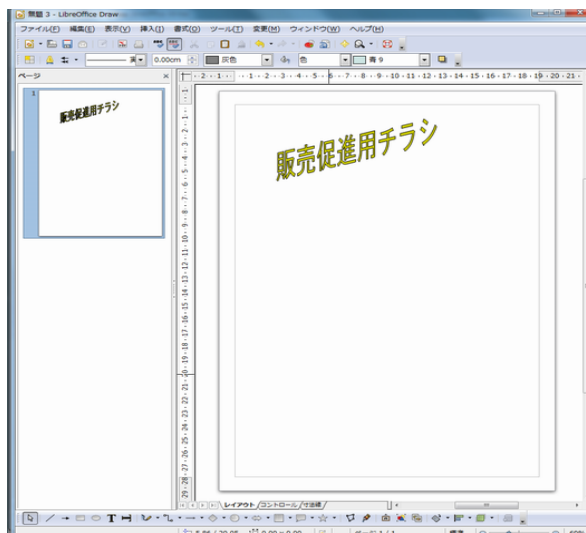
### プレゼンテーション～ Impress

以前は、OHPで投射していた資料等をパソコン上で多様なイラストやアニメーション機能を利用して、効果的なプレゼンテーション資料として作成することができます。



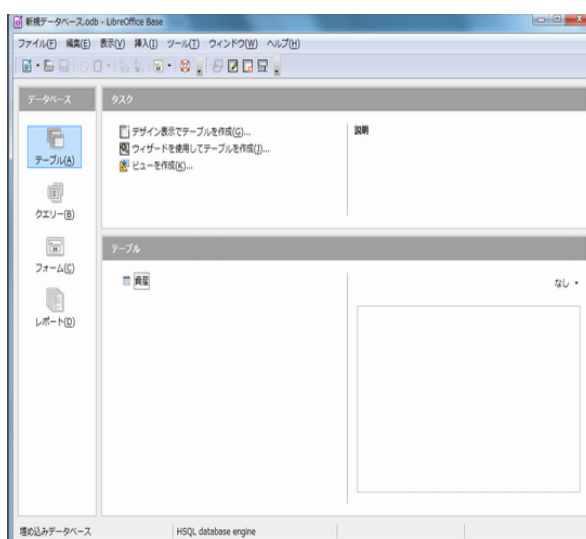
## 図形描画～ Draw

本格的機能を備えた図形描画作成ツールです。  
手軽なイラスト作成から、ロゴ作成やチラシ作成などの業務用途まで幅広く利用することができます。



## データベース～ Base

大量のデータ連結・集計などの処理や、各種帳票作成など、  
様々なデータ処理が可能です。



これら各種の機能を利用することで、日常業務に必要な事務処理を効率的に実施することができます。  
上記のほかにも以下の機能があります。

- 数式を効率的に記述できるソフト: Math もインストールされています。
- 他のオフィスソフトで作成された文書ファイルを、読み込み、編集することができます。  
(多少の修正が必要な場合があります)
- 作成した文書は、他の様々な対応ソフトで編集することができます。
- PDFファイルを作成したり編集することができます
- ODF オープンドキュメント形式の文書ファイルを読み書き保存することができます。  
(※オープンドキュメントについては、前項で解説しています)
- Linux や Mac など様々なパソコン OS(基本ソフト)で利用することができます。

## LibreOffice (リブレオフィス) で気をつけておくべきことは何ですか？

リブレオフィスは非常に高機能なソフトウェアですが、万全ではありません。  
運用するには以下の点に気をつけておく必要があります。

1. 他のオフィスソフトで作成された文書のレイアウトが崩れる場合があります  
他のオフィスソフトで作成された文書を編集する際には、必要なレイアウト修正を加えた上で利用してください。
2. フォント(文字デザイン)が含まれていません  
フォントが含まれていないので、チラシ作成等、ポップ体などのフォントが必要な場合にはインターネットなどから別途入手する必要があります。(通常ゴシック・明朝などは OS に標準搭載のフォントです  
から別途入手する必要はありません)
3. イラストなどの素材集や文書テンプレートが含まれていません  
イラストやテンプレートなどはインターネット上に多数登録されておりますので、そちらからダウンロードして利用してもらうことになります。
4. メーカーによるサポートや保証がありません  
トラブルが発生した場合には、インターネット上の情報を活用し、自分で問題解決を行う必要があります。
5. 罫線の種類によっては使用できない場合があります。  
罫線の種類や引き方によっては再現できなかったり、記入できなかったりする場合があります。

## LibreOffice (リブレオフィス) で困ったらどうすればよいですか？

リブレオフィスには、市販のオフィスソフトのようなメーカーによるサポートはありませんが、コミュニティなどの利用者相互間のサポートがあります。

操作などで分からない事があった時は、以下の方法で解決する事が期待できます。

### インターネット検索を活用します

インターネットには、リブレオフィスなどオープン系オフィスソフトに関する様々な情報が溢れています。

まずは、インターネット検索を使って、有効な情報を探してみると良いでしょう。

「LibreOffice 印刷文字化け」

「Writer 文字 書式」

「Calc 関数 互換性」

などを参考に、複数の言葉を使って条件を絞り込み、上手く必要な情報を見つけ出すことにより、手早く問題を解決できます。

### ガイドブックなどのマニュアルを活用します

リブレオフィスなどオープン系オフィスソフトを利用していると、使用方法やマニュアルなどを冊子の形式でまとめたものが欲しくなる場合があります。

インターネット上には、有志の方々が作成した様々なガイドブックやマニュアルがPDFなどのファイル形式で掲示されていたり、書店には様々なガイドブックやマニュアルが出版物として販売されています。

### 利用者コミュニティを活用します

インターネットには、リブレオフィスの使い方について、利用者同士で助け合いを行っているサイトがあります。

LibreOffice サポートフォーラム

<http://ja.libreofficeforum.org/forum>

よくある質問 FAQ

<http://ja.libreoffice.org/get-help/faq/>

上記のサイトで、他の利用者の助けを得ることも、解決方法のひとつです。

これらのサイトは、あくまで個人の利用者コミュニケーションの場ですので、結果にかかわらず対応して下さった相手に対し、最後にはお礼の言葉を添えるなどの配慮を忘れないように心がけましょう。

また、他の困っている利用者の問題解決策を発見した際は積極的に助言し、お互いに協力するようにしましょう。

## LibreOffice (リブレオフィス)の入手方法を教えてください

LibreOffice の入手方法にはインターネットから入手する方法と書籍の付録 CD や DVD などから入手する方法があります。

- インターネットから無償でダウンロードすることができます  
The Document Foundation 日本語ホームページ  
<http://ja.libreoffice.org/download/>
- オープンガイドブック OpenOffice.org 3  
OpenOffice の解説本ですが、LibreOffice でも利用可能です  
付録 DVD には OpenOffice.org 3.3 と LibreOffice 3.3 が収録されています

書籍付録の CD や DVD 等については、最新版でない可能性がありますのでインターネットからの入手をおすすめします。

ガイドブックの店頭取り扱いについては各書店にお問い合わせ下さい。

## JA 福岡市が取り組んでいる内容を教えてください

### JA 内の文書ファイルを国際標準規格 ODF に統一します

パソコンで作成する文書ファイルを、国際標準規格である「オープンドキュメント形式」に統一します。オープンドキュメント形式は、文書データの仕様が一般公開されているため、誰でも対応するオフィスソフトを作成することが可能となっています。

このため、リブレオフィスだけでなく多種多様なオフィスソフトを使って、文書を取り扱うことが可能となります。また、文書の取り扱いが、特定のソフトに依存する問題がなくなることから、長期保存されている重要文書を取り扱う際に、対応するソフトが無くなって表示できないという事態を回避することが出来ます。

同様に、特定のオフィスソフトへの依存度が高くなることで、他のソフトウェアに移行することが出来なくなってしまう、「ベンダーロックイン」と呼ばれる事態を避けることが出来ます。

これらのことから、文書運用を適正化することや、維持管理コストの削減を図ることが出来ます。

### パソコン購入費用を低減します

現在、JA 福岡市では、事務作業用として約400台のパソコンが稼動しています。

これまでは、この約400台のパソコンで利用するオフィスソフトに、約1200万円以上の経費が必要でした。

無償で利用できる、リブレオフィスを活用することで、オフィスソフトの購入にかかる費用を、約840万円程度削減する計画です。

この金額は、これまで使用してきたオフィスソフトのうち、30%程度は継続して使い続ける必要があると見込んで、

約1200万円 × 70% = 約840万円

として算定しています。

この費用効果は、定期的に有償ソフトウェアを購入し続けた場合を想定すると、長期にわたってリブレオフィスを利用することで、さらに大きくなります。

注意: 上記の計算金額は、利用しているオフィスソフトのグレード単価によって、大きく変動致します。

### 組合員及び利用者サービスを向上させます

JA 福岡市では、組合員や利用者の皆さんが利用できる、各種の資料や様式などをホームページ上に掲載するなど電子情報として提供していませんでした。

これまで、これらの資料や様式を利用者の皆さんが利用するためには、特定の有償ソフトウェアを利用していただく必要があったからです。

このたび、各種資料や様式などをオープンドキュメント(ODF)形式に変更することにより、これら資料や様式を利用者の皆さん自身が好きなオフィスソフトを選んで利用できるようになり、ホームページに掲載するなど電子媒体での提供が可能となります。

また送信側・受信側双方に共通のオフィスソフトをインストールすることが可能な為、JA から電子媒体を送付する場合でも、逆に JA 宛に電子媒体を送付する場合においても、安心して送付することが可能となり、組合員及び利用者へのサービス向上に繋がるものと考えています。

※この文書は、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス「表示 - 非営利 2.1 日本 (CC BY-NC 2.1)」でライセンスされています。

※IPA フォントを利用しています。IPA\_P 明朝フォントが入っていない場合、レイアウトが崩れる可能性があります。



この文書は会津若松市「OpenOffice.org オープンオフィスにしませんか?」を参考に作成しました。